

令和6年6月5日発行

1 定例総会開催とその概要

5月19日(日)10時15分から、市議会議員堀田様をはじめ多くのご来賓出席のもと、定例総会が開催されました。参加者は該当者の概ね三分の一、37人でした。(定足数は決めてありません)

議事の進行では紛糾などもなく、穏やかに進みました。一方、予算の使い方からして、友和コミュ協が『まちづくり』の視点から最も重視しているのは敬老会か？違うのではないか？自治会・町内会への配分を考慮する必要があるのではないか？との、会運営の基本にかかわる指摘などがありました。

これは、市から『まちづくり』交付金として約270万円が交付されていますが、その6割にあたる約170万円が敬老会事業に支出されていることを指摘されたものです。

このような状況から、06年度の事業及び予算案は組み換えもあり得るとの条件付きで承認されました。

なお、市がめざす『まちづくり』を簡単に表現すると「安全・安心で明るく持続性のある地域づくり」と言えるでしょう。

また、今回の総会では役員の選出でも会が抱えている厳しい状況が現れました。会長以下全役員等が退任するらしいとのことで総会を迎えましたが、それまで間、それぞれの後任者の事前調整も不調に終わっていたようです。総会の場で議長から、「どなたか会長に立候補する人はありませんか？」と問われても立候補する人はおられませんでした。

会を存続させるか否かにも関わることであり、それならば、と言うことで会運営の基本にかかわる事柄を指摘した叶が会長に立候補し、選出されました。他の役員では前監事(森下、古池)が留任となり、その他の役員は新会長に一任となりました。このため6月1日現在、いわゆる執行部に所属する者は会長1人だけの状況です。

2 地域の皆様・自治会等の皆様・関連団体等の皆様へ

このような状況でスタートしましたが、ご安心ください。皆様の活動に特に影響を及ぼすことはありません。これまで同様に活動していただければと思います。まだ引継ぎができていないことから暫くの間、コミュ協からの支援が予定されているお金の支払いが遅れることがあります。立て替えておいてください。

コミュ協には4つの部会がありますが、これまでの状況も勘案し、関連団体で支えていただいている事業以外は休止します。

各自治会等から1世帯あたり100円の会費を納入していただいておりますが、これまで同様に口座振り込みをお願いいたします。現金で納入されている自治会等で現時点、未納の場合は、別途お知らせするまで納入は保留してください。

今年度の事業及び予算の組み替えでは、敬老事業を取りやめ、関連費用170万円＋アルファをコミュ協に加入している単位自治会・町内会等（連合会・関連団体は含みません）に配分し、それぞれの口座に振り込むようにしようと思います。（総会にて考え方などは説明済みです）つまり、1世帯あたり100円の会費をコミュ協の運営費としていただき、コミュ協からは市の交付金から1世帯あたり1,000円を配分するというものです。

敬老事業を軽視するものではありません。各自治会等の状況や事情に応じ『まちづくり』の視点で適切に対応していただければと思います。

3 友和市民センターだよりでお知らせしたことの概要説明

抜本的な見直しの方向性（一案）を先にお知らせします。

災害発生時など、共助の観点からはコミュ協は力を発揮できません。組織を大きくしていると何か実効性のあることができるように思いがちですが、実効性のある活動が期待できるのは単位自治会等や更にはその中の班といった小さな組織です。都会域と違い、友和地区の自治会等の加入率は高い状態にあります。原点に立ち返り、共助など、単位自治会等の主体的な取り組みを期待し、コミュ協はこれをバックアップする位置づけに変わろうと考えています。単位自治会等がそれぞれの「まちづくり」について直接的にかかわることに対比し、関連団体は横断的に間接的にかわる形です。そしてコミュ協も含め、それぞれの組織に上下関係はなく対等であるとの認識に立ちます。

つまりコミュ協は単位自治会等や関連団体等の調整役・潤滑油的な位置づけで連携を取るとともに、地域全体の将来を見据えた活動に視点を置こうと思っています。必要な情報の収集や施策の検討等、近隣のコミュ協とも連携を図りつつ、行政との意見交換や要望等を主体性をもって行う組織にできればと思っています。また、社会はとても早く変化しています。このことも念頭に置いておく必要があります。

このような視点から、これからのコミュ協を支える役員は思い切った若返りを図ることがとても重要と考えています。40歳代、50歳代くらいを中心に！ここを念頭に役員をお願いしたい人に声掛けをしています。

これらのことも含め、改めて次号以降で順次説明していきます。

- ◎ 近いうちに友和市民センターに「ご意見等回収箱」を置かせてもらいます。
- ◎ 自治会等、関連団体等の代表の方々とはできればメールで意思疎通が図れるようにしたいと思っています。それぞれの負担軽減とスピード感のある活動を目指しましょう！